

九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520538>

出版情報：九州大学新聞. 352, 1954-04-25. 九州大学新聞部
バージョン：
権利関係：



われらの態度

池田	平野	森田	永松	内田	北西	木村
田	野	田	松	田	西	村
信	富士	一	一	一	一	春
行	夫	右	夫	郎	尤	夫
数	櫛	物	应	土	取	应
学	梯	理	用	木	法	用
科	工	学	理	工	学	理
(理)	(工)	(理)	(工)	(工)	(法)	(工)
特	助	助	助	助	特	助
聘	教	教	教	教	聘	手
生	授	授	授	授	生	

致命的な人員の欠除

[illegible][illegible]

北西、法文あたりもそうで
つまり、人員や予算のともな

の新設の際には定員を増やさ
講座を増すに二つ面ですが。
(同案書)

国策に沿つた
研究が得する
北西、法文あたりもそうで
つまり、人員の予算のともな
い講座ですね。……今年国会
通過した国立学校設置法によ
この傾向がたゞつぎにきた
で法律で定められていた人

いの知れぬ研究費

[illegible]

実状についていろいろと
聞望』という案文を発表し「軍事
だてに原子力委員会の設置
を主張してはならぬ」とい

[illegible]

學術會議の考えは

といふ。この書は、明治十八年（一八八五）に刊行された。その時、日本は明治維新の熱風が吹いてゐた。この書は、その熱風を冷まして、日本に必要とされるもの、日本に不足するものを示した。その結果、日本は明治維新の熱風を冷まして、日本に必要とされるもの、日本に不足するものを示した。その結果、日本は明治維新の熱風を冷まして、日本に必要とされるもの、日本に不足するものを示した。

ンカラに
がいいと

「なにか
神経質に
は分校前
話。
分校には
ています
これらのこ
問題も一
みられ、
見るとは
ききりさ
か。また
初めから
体内に
はないで

福岡市内で一番安い飯といつたを食いに中洲まで出掛けていた。隣の飯をかう。一ころは塩水替と少しも受けない。時こそ千

[illegible]

寸

学術会議無視
原子炉予算・決定

木村 科学技術庁といつても目新しいものではないが、これによって本に技術者が入る長といふ声もある。

永松 たしかに目新しいものであろう。替の技術者の通りの失敗はよく分っているが、推してよめる人達に押しつけておる人達もあつてゐる。

平野 技術院のようなものを設けるのは軍科学そのものがなくなるのであるが、例へば国防の問題でも戦後最初から技術的であつた人はそれ

[illegible][illegible]

原子炉研究は始められ
結論を三月十六日と四

開で綿部研究と綿部研究と切取扱われる者は三階、二階、一階の三層に別れて居る。この二条件が保証したといふ研究は殆ど知らぬ所である。研究員は子丹野村の綿部研究を結成して子丹野村の綿部研究会を設立した。

四日、万重京の料亭で開けられ金ぐくんの舞踏会がなかりなる配された所、三日、研究員會へ「救世院」の調査を行つて原子力研究所長が提案され、部長が出席されて、長に出た。その研究で上げられる研究者の名に必要なら



より添いて深夜の雪の中に立つ
女の右手のあたたかさかな

新天地北海道のど
ん底の生活にあえ
きながら貞淑な愛
節子以外に女の愛
情を知つた石川啄
木の情熱の恋！
監督 中川 信夫
脚本 館岡謙之助
岡田 英次
角 梨枝子
若山セツ子
左 幸子
細川 俊夫
山形 勲

★ 映画記念年

[illegible]

品質を中点とする

キリンビール
キリンレモン

キリンビール株式会社福岡支店

株式会社

丁目 電 3031

